

出席者	住民	11人	市 大城市長・菊池副市長 政策推進課 山下補佐・徳田係長
担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
※事前質疑なし			
総務課	市周辺部の防災について	愛宕山プロジェクトで旧市内の災害対策が進められているが、周辺部の災害対策についてはどのように考えられているのか。	愛宕山プロジェクトについては、旧市内対象事業である。各地区については、自主防災会を中心にそれぞれの特性に合わせた避難計画を構築することが大事である。災害対応は、まず避難すること。市と地区でそれぞれ意見を出し合いながら良い方法を考えていきたい。 【補足】 市内においても、孤立する可能性が高い地区においては、防災拠点施設を指定し、備蓄物資等を余分に配備している。
総務課	要援護者の対応について	要援護者の把握のため名簿をもらっているが、訓練時には元気な方は自力で避難しているという状況がある。	訓練においては、避難済みという状況を確認しておくことが重要である。本当に避難したか、取り残されていないかを確実に把握しておくことが実践的な訓練となる。 【補足】 避難行動要支援者の中には、要介護等により名簿に掲載する方と、名簿掲載を希望する方も対象にしているため、現在は、自力避難が可能な方もいると思われる。
政策推進課	市内に就労する若者への支援について	若者が高校を卒業して、市内に事業所があるのに市外へ出てしまう。八幡浜で頑張ってもらうため、助成金や支援ができないか。	補助金という支援だけでなく、市民が「住んで良かった」と思える魅力的なまちづくりを進めることが、次世代の定住に繋がると考える。 【補足】 本市が直面する人口減少は、市だけでなく企業にとっても人材確保や消費の減少に繋がる深刻な課題となっている。若者に八幡浜市で働き続けてもらうためには、単に補助金を出すだけでは限界があり、根本的な解決のためには、経営者自らが意識改革を行い、若者から「選ばれる職場」となるための努力が不可欠である。 現在、本市では愛媛県と合同で市内企業を訪問し、女性が活躍でき、仕事と家庭を両立しやすい職場づくりを進める企業を認証する「ひめボス宣言事業所認証制度」の拡大に取り組んでいる。今後も県と連携し、より多くの企業にこの制度の普及と認証取得を働きかけていきたい。 加えて、小学生向けの「ジョブキッズえひめ」や中学生向けの「ふるさとキャリア教育」を通じて、市内企業の魅力を積極的に発信していきたい。
生涯学習課	外部指導者の資格援助について	中学校部活の地域移行をする必要があるため、そのためにも指導者カード取得費用の支援をお願いしたい。	昨年度も要望をいただき、今年度から資格取得に対する助成金の上限を1万円から5万円に引き上げているので、活用してほしい。また、分かりやすい周知の方法を考えたい。 【補足】 助成制度については、スポーツ協会の評議員会（総会）で周知しているが、それだけでは不十分と考えている。今後は、市ホームページなどの媒体を活用して周知を図りたい。

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
生涯学習課	弓道場の駐車場について	車の利用者が多いが、駐車場所が徹底されていない。駐車場はいつ頃、どこに整備されるのか。	弓道場の裏手側に整備予定であり、今年度予算に計上しているため、今年度中には整備できると考えている。完成までの駐車ルールについては周知徹底したい。 【補足】 駐車場予定地は、市道拡幅工事の際に重機置場となるため、市道拡幅工事の完了後に整備を行う予定である。駐車ルールについては、施工業者と協議のうえ、利用者に周知を図りたい。
農林課	新規就農者の倉庫建設支援について	来年度から新規の就農者が舌田地区に来るが、倉庫が見つからないので市が建設するとか支援してもらえないか。	市が土地を購入することは難しいが、地区で空いている土地を提供いただければ、市が倉庫建設の一部を補助するなど、前向きに考えたい。 【補足】 特に、Iターン新規就農者の倉庫確保は以前から課題となっていることから、就農促進と地域農業の活性化のためにJAや西宇和みかん支援隊等に現状を確認し、支援方法を検討したい。
建設課	神山こども園の整備について	王子の森公園に神山こども園を建設することとなっているが、ソフトボール利用の際等に駐車場が少ない。	南予家畜センターが移転したため、跡地を市が購入して王子の森公園の駐車場を整備する予定である。
市立病院	医療体制について	皮膚科と脳外科の医師を確保してほしい。	毎年、愛媛大学医学部附属病院を訪問し、皮膚科、脳外科を含めた各診療科の教授に対し、医師派遣を依頼している。医師不足のため、現在のところ出来る限りの派遣をしていただいている状況である。 今後も、引き続き医師確保に努めていきたい。